

令和5年10月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和5年10月25日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	齋藤	信哉
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳
	教育委員	小澤	直子
事務局出席職員	教育部長	八木田	満彦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	熊谷	誠二
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	寺井	健司
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	高橋	宣子
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	こども支援センター所長	田端	修文
	図書館副館長	磯嶋	奈都子
	観光文化スポーツ部次長兼		
	スポーツ振興課長	石丸	隆典
	文化創造推進課長	下斗米	一哉

開 会

(齋藤教育長)

定刻となりましたので、令和5年10月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、西山委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(齋藤教育長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第32号「八戸市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第32号 八戸市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について

(寺井学校教育課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明に対して、私からも若干補足をさせていただきます。

まず管理規則の改正に至った経緯を改めて御紹介申し上げますと、皆様も御承知のとおり、今夏の酷暑、特に夏休みが明けてからの1、2週間あまりの期間は、毎日のように気温が30度を超え、時には35度近くまで上がるという状況でした。今年度をもって、市内小・中学校の国庫補助を活用した空調設備設置事業が終了しますが、空調設備が完備されたからといって、子どもたちをこの暑さからいかに守るかという課題は依然として残ります。その一つの方策として、このたび夏休み期間を後ろに5日間スライドさせたという経緯がございます。

学校現場は、一般教室や職員室、校長室そして保健室には空調設備が備わっていますが、それ以外の体育館等には設置されておりません。また、学校に通うための通学路において、登下校の際にいかにして子どもたちを守るかということが、これから我々に課せられた大きな課題ではないかと考えています。ここ何年かの気温と比較して、お盆明けから9月上旬にかけて気温が高くなっているという状況があったため、夏休み期間を5日間後ろにスライドさせるとともに、これまで夏休み期間であった前半部分については、空調設備等を活用しながら学校で子どもたちの様子を見て守っていただくというやり方を検討した結果、今回の改正に至りました。

なお改正に至るまでは、小・中学校の校長会等としっかりと連携を図りながら情報交換をして進めておりましたので、学校側も今回の改正については了解済であるということで考えていただければと思います。

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 32 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第 32 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 33 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」事務局から説明をお願いします。

議案第 33 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(鈴木次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

(小瀬川委員)

まず、感想とお礼を簡単に申し上げたいと思います。このようにまとめられることは大変な作業であったかと思いますが、本当に素晴らしいものに仕上がっていると思います。ありがとうございました。

さきほどの御説明と重複しますが、高谷先生もおっしゃられているとおり、制約がある中でも工夫をこらしながら感染拡大防止と教育活動を両立されたことが高評価として表れているように私も思いました。事業に真摯に取り組んで、たくさんの方が汗を流された結果の賜物だと思います。

また木村先生、川本先生が連携やつながりの強化などという言葉を用いて、事業の活性化の推進及び支援の枠の拡大というところに触れられております。そういった点は今後の八戸市の教育力の向上に欠かせないポイントであると感じました。たくさんの内容を分かりやすく何度も見直しを重ねてくださって、大変丁寧にまとめられているというのが率直な感想です。報告書の評価が結果ということではなくて、また活用されて次につながりますことを願っています。本当にお疲れ様でした。

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

それでは、議案第 33 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第 33 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに「令和 5 年度第 2 四半期の業務報告について」は、事前に委員の皆さんから質問をいただいております。

【令和5年度第2四半期の業務報告について（質疑応答）】

（齋藤教育長）

2ページ「八戸市奨学金」について、福井委員からお願いいたします。

（福井委員）

2ページの八戸市奨学金の表について、昨年の数字も少し見てきたのですが、一般奨学金【貸与】の大学予約枠において、応募者数に対して採用者数が少ないように感じますが、その理由はなぜでしょうか。

（寺井学校教育課長）

福井委員の御質問にお答え申し上げます。御覧いただいているとおり、一般奨学金【貸与】の大学予約枠の選考につきまして、募集が20名に対して、応募が8名あり、その内実際採用になったのは3名、つまり不採用が5名となっておりますが、この理由につきましてお話ししたいと思います。

まず辞退をされた方が1名、第2種特別奨学金に併願し採用された方が1名、それから市の奨学生の採用選考指針で定める所得基準額に該当しなかった方が3名、以上が計5名の内訳となっております。

（福井委員）

ありがとうございます。給付枠を広げるといった、当市の若い学生の奨学金意欲を高められるような施策を実行しており大変よいことだと思っております。若者が上級学校に行くことを経済的に諦めざるを得ないような状況について、少しでも補助できる形で進めて欲しいと思いました。

一つ要望になりますが、この奨学金について再募集するのであれば、次の四半期の事業予定に書いてもよいのではないかと思います。

（寺井学校教育課長）

貴重な御意見ありがとうございます。現在、採用枠に満たない部分につきましては再募集しております。11月16日から11月30日の申請期間での受付ということで、ホームページ、さらには広報はちのへで周知しておりますので、今御意見いただいたように四半期の事業予定にも載せることで周知を図っていきたいと思います。

（齋藤教育長）

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

次に、4ページ「地域密着型教育推進事業」について、福井委員からお願いします。

（福井委員）

これから本格的にコミュニティ・スクールの導入に向けて動いていく中で、地域密着型教育コーディネーター座談会における情報交換の内容を少し紹介していただきたいと思っております。

(梅内教育指導課長)

福井委員の御質問にお答え申し上げます。地域密着型教育コーディネーター座談会につきましては、市教育委員会が実施する研修会とは別に、コーディネーターが自主的に集まって情報交換をする場として、今年度より開始した取組でございます。9月29日に行われました本座談会では、市内15名のコーディネーターが集まりました。そこでは、市川中学校のコーディネーターよりセブンイレブンの出前授業についての報告があり、他の学校での実施に向けた情報交換が行われました。また街かどミュージアム館長を招聘して、八戸市美術館の企画展に合わせた映画上映プログラムの提案をいただきました。今後コーディネーターの有志が協力し、市内の公民館や学校、総合教育センター等の施設を利用して、土曜日や日曜日に子ども向けの映画を上映する企画を準備しているところでございます。

教育指導課では、今後もコーディネーター研修会等を通じて、各学校の工夫した取組を周知するとともに、座談会のようなコーディネーター同士が協力して主体的に活動する取組がさらに推進されるよう支援をしております。

(福井委員)

これから、ますます地域との関わりを考えていかなければいけないということで、現場で苦労しているコーディネーターの方々の声というのは重要であり、この間の東京視察に行った時も非常に貴重な意見をいただきましたので、座談会の場で何が話されてどういう良い意見があったのかというのは、何かの機会に紹介していただければありがたいと思います。

(齋藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、4ページ「マイブック推進事業」について、西山委員からお願いします。

(西山委員)

それでは4ページ「マイブック推進事業」について御質問いたします。マイブック推進事業については、市民にも定着してきており、マイブッククーポンを使うことを非常に楽しみにしている児童も多くなっていると認識しています。その中で、なかなかマイブッククーポンを使えないという子どももいるという状況もあって、対応にいろいろ工夫しているところだと思います。今年度も校長会等で周知を依頼したり、それからクーポン専用袋を配布したりということで対応していると思いますけれども、今年度のマイブッククーポンの使用率をお伺いしたいと思います。

それからもう1点として、各学校でマイブッククーポンを使って得た本を紹介する等の学校教育の中の活用事例があったら様子をお知らせいただければと思います。

(梅内教育指導課長)

西山委員の御質問にお答え申し上げます。まずは1つ目、今年度のマイブッククーポンの使用率についてお答えいたします。今年度のマイブッククーポンの使用期間は7月1日土曜日から9月30日土曜日まで

となっております。現在集計が終了しました8月購入分までのクーポン使用率は、80.2%となっております。これは昨年度の同時期と比べて同程度となっております。マイブッククーポンを1枚も使っていない児童に対しては、9月上旬にクーポン専用袋を配布しておりますが、未使用児童には改めて使用を促しております。また、2学期以降に転入した児童につきましては、使用期間を12月31日までとしております。そのため最終的なクーポンの使用率はさらに増えることが見込まれております。

次に御質問の2つ目、学校の教育活動におけるマイブックの活用事例についてお答え申し上げます。本事業は小学生が書店に足を運び、自ら本を選び購入する体験をとおして読書に親しむ態度を養うことを狙いとしております。そのため市教育委員会として感想文の提出等を求めているはおりませんが、各学校ではブッククーポンで購入した本を授業の中で紹介したり、校内に掲示したり、買った本を学校ブログで紹介したりするなど、学習活動に活用していただいております。今後も各学校の実態に応じて、教育活動にマイブック推進事業を活用いただきたいと思いますと考えております。

(西山委員)

ありがとうございます。これからまた残った分の集計が行われることになると思いますけれども、やはりできるだけ100%に近い数値を目指して対応していただければと思います。子どもたちが、それぞれ自分の本を手にして活字に親しむという活動は、非常に有意義なものだと感じています。今後もこの事業がさらに充実していくように、各学校における取組なども相互に紹介しあう場についても検討していただき、より多くの活用事例を挙げて子どもたちの励みにしてもらえればと思っています。

(齋藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、14ページ「学校図書館ネットワーク事業」について、西山委員からお願いします。

(西山委員)

それでは14ページ「学校図書館ネットワーク事業」について御質問申し上げます。この事業もかなり長い期間取り組んでいる事業ではあると思いますが、現場の方で事業内容を理解できていない部分もあるのではないかと感じていました。資料によると、図書貸出を行った利用回数が6回、貸出冊数が18冊という実績であり、この事業の大きな取組の1つである相互貸借が有効に活用されていないのではないかと考えたので、今年度の図書貸出の利用校数、それから貸出図書の内容・種類等についてお伺いできればと思います。

(熊谷教育部次長)

西山委員の御質問について、総合教育センター所長の河村に代わり、今年度の総合教育センターからの図書貸出の利用校数及び貸出図書の種類についてお答え申し上げます。今年度、4月から9月までの利用校数は6校であり、内訳は小学校5校、中学校1校であります。学校以外にも利用されている施設がありまして、こども支援センターと大館公民館が利用していました。貸出冊数は40冊であり、その大部分が大

型の絵本であるほか、学校文集や演劇の脚本集等が貸し出されておりました。なお、令和3年度は159冊、令和4年度は77冊という実績を残しておりました。各学校の蔵書が充実されてきていることも感じつつ、いま委員からも御指摘のあった周知方法等も考えていかなければならないと思っております。現在、総合教育センターのホームページ上で行っている、購入した図書の紹介等があるのですが、ホームページではなくていわゆる校務パソコン上のG o v a t tというシステムにおいて、出退勤の記録やメールする画面から閲覧できるような形で、より多くの教員に知ってもらおうということについても検討していきたいと考えております。

(西山委員)

ありがとうございます。この事業が始まった当初、それぞれの学校の蔵書もあまり整っていないこともあり、市内各学校の蔵書は学校単独の物ではなく、市内全体の物ということで、図書館も含めて検索及び相互貸借をできるようにすることを目的に進めてきた事業です。本当に有効かつ、他にあまり類を見ない優れた取組だと思っているので、もう少し有効に活用していけるようになっていければと思ってお聞きさせていただきました。総合教育センターにも、たくさんの学校支援図書や大型絵本等が充実していると思っていますので、ぜひ今後も有効活用を進めていただければと思います。

(齋藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、14 ページ「教育の情報化推進事業」について、小瀬川委員からお願いします。

(小瀬川委員)

「教育の情報化推進事業」について御質問したいと思います。八戸市はG I G Aスクール構想の実現に向けて、1人1台端末や高速大容量ネットワークの一体的な整備のほか、先生方の研修等も含めて全国的に見ても本当に早く御対応くださったことで、子どもたちの手元にクロームブックが届いたかと思えます。授業等で活用されるようになって早2年、3年経過したと思えますが、各学校の教頭先生及びICTリーダーを対象にアンケートを実施したということで、現場の声が多く寄せられたかと思えます。この数年の取組から見えてきた成果と課題等のほか、アンケート結果についてもお伺いしたいと思います。

(熊谷教育部次長)

小瀬川委員の御質問にお答えいたします。G I G Aスクールアンケートについては、当市のG I G Aスクールに関する課題を把握すること、それから改善策を検討することを目的に行ったものであり、資料にも記載がありますとおり、各学校の教頭先生及び研修主任又はICTリーダーどちらか1名の各校2名に対して行っております。実施期間は8月23日から9月15日であり、G o o g l eフォームによるデジタルアンケートにて回答をいただいております。主な質問内容は、端末の活用状況や端末活用に関する課題、端末の持ち帰り状況などになっております。

まず、端末の活用状況につきましては、日常的に使用している教員の数は、本当はほぼ全員活用してい

るが7割であってほしいところですが、ほぼ全員活用している、大半の先生が活用している、半数の先生が活用している、という回答をした学校を合わせて全体の7割になっております。また端末の持ち帰りについて、各学校の教頭先生からは、自宅での長時間の利用や不適切なサイトの閲覧に関して不安や課題を感じている先生が多く、実際夏休みの持ち帰りの実施について検討している学校も多くありました。各学校の研修主任やICTリーダーにつきましては、端末を活用してどのような授業をしているのか、その授業の種類をいろいろ知りたいという意見が多かったようです。授業を受け持つ先生方に、それを周知・共有出来たりすればよいという感想がありました。

今後の対応といたしましては、まずはアンケートの詳細をまとめた資料を校長会に示しまして、GIGAスクールの推進に向けて端末活用の協力を依頼し、進めていきたいと思っているということが1点です。また、活用促進の大きな障害となっている端末使用の時間超過について、家庭での使用を制限するほか、不適切なサイトへのアクセスを制御するセキュリティソフトの導入も検討していかなければならないと思っております。さらに、研修主任とICTリーダーの間で、端末活用に関する情報交換を密に行うことができる仕組みづくりや担当指導主事からの積極的な事例提供について、既にオンラインで行っているところではあるのですが、さらにそういう部分を充実させていければと思っております。

(小瀬川委員)

ありがとうございました。こういったアンケートもGoogleフォームを活用されており、また新聞でも丸つけ等に活用されているということを目にしたので、本当に働き方改革として業務の負担軽減の1つになっているということが今の話からも分かりました。これまで、コロナ禍でどうしてもオンラインで授業を展開するという活用が多かったのですけれども、文房具の代わりとしての使い方や子どもたちが未来へ対応するための力を育成する取組等が、本来のGIGAスクール構想であると思います。今おっしゃられたように、情報モラルや端末使用の時間超過、また先生方の授業における活用方法の共有等といった課題や改善案を洗い出して、今後のGIGAスクール構想に向けて役立てていただければと思っております。子どもたちが安全かつ適切に活用していけるようにという点を第一にお願いできればと私は思います。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

それでは、次にまいります。「令和5年度第3四半期の主な事業予定について」も、事前に質問をいただいております。

【令和5年度第3四半期の主な事業予定について（質疑応答）】

(齋藤教育長)

6ページ「令和5年度八戸市いじめ問題専門委員会」及び「令和5年度八戸市いじめ問題対策連絡協議会」について、小瀬川委員からお願いいたします。

(小瀬川委員)

御質問申し上げます。今月、文科省が2022年度の小・中学校における不登校者数と小中高特別支援学校のいじめ認知件数の調査結果を発表しました。それを受けて、青森県教育委員会からも本県の結果が公表されたわけですが、全国的には過去最多、県では前年度より増加という報道を目にいたしました。新型コロナによる環境の変化が、子どもたちの行動にも影響を与えていると分析しているようです。八戸市のいじめ防止基本方針の中でも委員会・協議会を設置するように謳われておりますが、この2つの会がどのように連携して関わりあっているのか、また学校現場とどのように関わっているのかというところを改めてお伺いできればと思います。

(梅内教育指導課長)

小瀬川委員の御質問にお答え申し上げます。いじめ問題専門委員会といじめ問題対策連絡協議会のそれぞれの取組内容についてお知らせいたします。まず、八戸市いじめ問題専門委員会の取組内容でございますが、こちらは平成25年9月に施行されたいじめ防止対策推進法及び平成27年4月に策定した八戸市いじめ防止基本方針に基づき、本市におけるいじめ防止対策等に係る調査審議及び、万が一いじめの重大事態が発生した場合に調査等を行うことを目的として設置しました市教育委員会の附属機関でございます。現在、本委員会は弁護士、医師、公認心理士、学識経験者2名の計5名で組織しております。年に1回定例会を開催し、本市におけるいじめ問題の現状と未然防止の取組等について委員から意見を聴取することとしており、本年度は令和5年11月17日の開催を予定しているところでございます。

また八戸市いじめ問題対策連絡協議会についてお話いたします。こちらにつきましても、平成25年9月に施行されたいじめ防止対策推進法及び平成27年4月に策定した八戸市いじめ防止基本方針に基づき、本市におけるいじめの防止等に関係する機関及び団体との連携、並びにいじめの防止対策等を推進するために必要な事項に関し、協議を行うことを目的として開催をしております。こちらにつきましては、本市におけるいじめの防止等に関係の深い市立小・中学校や法務局、警察、児童相談所などの関係機関及び青少年健全育成団体等で組織をしております。今年度は令和5年11月13日の開催を予定しております。この連絡協議会では、本市におけるいじめ問題の現状と未然防止の取組、各関係機関や団体が行っている取組について、共通理解や情報交換を図っているところでございます。

(小瀬川委員)

いじめ問題専門委員会は年に1度の開催ということで、今御説明いただいたのですけれども、その時には八戸市の問題点について議題を挙げて開催するのでしょうか。八戸市で何か取り組んでいること、課題になっていること等、これから扱われることとお話できることがありましたらお伺いできればと思います。

(梅内教育指導課長)

お答え申し上げます。まずいじめ問題専門委員会及びいじめ問題対策連絡協議会の場で市教育委員会からお話することになりますが、1000人あたりのいじめの認知件数について、国や県だけでなく本市の状況も出ておりますので、具体的に数値を挙げて委員に説明をします。本市の状況についてこれまでの経過等も含めてお話をし、委員から様々な御意見をいただくことで取組を進めております。

(小瀬川委員)

アドバイスをいただいたり、会議の中で見えところがまた学校におろされていくのだと思います。子どもたちのSOSを見逃さないように、先生方が日頃から細心の注意を払って見てくださっているかと思えますけれども、限られた9年間の義務教育の中で子どもたちがより楽しく夢を育める時間が身になるとよいと思っています。

(齋藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、12ページ「学校図書館ネットワーク事業」について、西山委員からお願いします。

(西山委員)

先ほどの回答の中である程度御説明いただきましたので結構です。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

それでは、次にまいります。「自動車破損事故に係る損害賠償額の専決処分について」事務局からの説明をお願いします。

【自動車破損事故に係る損害賠償額の専決処分について】

(鈴木次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

それでは、次にまいります。「令和5年度成人式開催事業について」事務局からの説明をお願いします。

【令和5年度成人式開催事業について】

(高橋社会教育課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に「是川縄文の日」の開催について」及び「八戸市遺跡調査報告会について」は、いずれも是川縄文館からの報告事項となりますので、併せて事務局からの説明をお願いします。

【「是川縄文の日」の開催について】

【八戸市遺跡調査報告会について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

それでは、次にまいります。「第13回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品の決定について」事務局からの説明をお願いします。

【第13回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品の決定について】

(磯嶋図書館副館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

それでは、次にまいります。「八戸市南郷歴史民俗資料館の臨時休館について」事務局からの説明をお願いします。

【八戸市南郷歴史民俗資料館の臨時休館について】

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

次に「その他」にまいります。

本日は、教育委員会に対してスポーツ振興課から「八戸市スポーツ推進計画改定（案）」が提出されております。概要について、スポーツ振興課から説明をお願いします。

【八戸市スポーツ推進計画改定（案）について】

（石丸次長兼スポーツ振興課長 資料に基づき説明）

（齋藤教育長）

ただいま説明のあった「八戸市スポーツ推進計画改定（案）」について、委員の皆様方から、今後のスポーツ振興に対する御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

（小瀬川委員）

現在、中学校における休日の部活動の地域移行が進められております。資料の中に、「スポーツを「ささえる」多様な人材の育成」とありますけれども、是非教育委員会とも連携をとって御協力いただけるとありがたいと思います。

（福井委員）

内容がすごく細かく分かりやすく、非常に御苦勞なさった跡が見えるのですが、災害時にY Sアリーナ八戸を使用する際のライフラインの確保等についても記載があってもよいのではないかと思います。また、もう1点は、1ページに「1 計画の改定について」と書いてありますが、目次と表記が合っていないように思います。他は全て目次どおりなのですから。この箇所だけ気になりました。

（齋藤教育長）

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

それでは、私からも意見申し上げます。今小瀬川委員からもありましたとおり、これから中学校における部活動の地域移行を進めていくこととなります。教育委員会だけではなかなか解決できない大きな課題がございますので、スポーツ振興課とも緊密に連携を図りながら環境づくりをしていきたいと思っております。あわせて、競技力向上という話がありましたけれども、やはり競技力向上の一番の基になるのは、小・中学校の子どもたちをいかにこれから育てていくか、これがやはり当市の競技力に大きく影響するのではないかと思います。そういった部分も学校教育としっかり連携を図りながら、一緒に進めていただいて、スケート部門では氷都八戸、それ以外にもサッカーやバスケットなど様々な競技団体がございますので、連携を図りながら八戸市がスポーツで活躍できる人材をたくさん輩出できるような環境をつくっていただければと思っております。

それでは、ただいまの意見等をもって教育委員会の意見とさせていただきます。

こちらの案件につきましては、以上とさせていただきます。

(齋藤教育長)

次に「その他」の2つ目として、文化創造推進課から「八戸市公会堂・八戸市公民館ネーミングライツのスポンサー募集について」報告がございます。概要について、文化創造推進課から説明をお願いします。

【八戸市公会堂・八戸市公民館ネーミングライツのスポンサー募集について】

(下斗米文化創造推進課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

「その他」については以上となります。

そのほか委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

閉 会

これをもちまして令和5年10月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時53分閉会)